2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科	科目	区	分	専門分野	授業の方法		実習
科目名	課題研究	必修/選	【択ℓ	り別	必修	授業時数(単位数)	60	(2) 時間(単位)
対象学年	2年	学期及び	が曜日	寺限	後期	教室名		
担当教員	若林 健一	事業開発を	:3年担	当。計	産業向け・家庭向け機 講義内容に関わる、企画 対行っている。			

《授業科目における学習内容》

社会に存在する課題やニーズにフォーカスを当て、これまで学習した知識や技術を用いて解決する方法を考え、実際に解決 に向けたアクションを起こす。調査からアクションまで一連の過程を経験し、本当に世の中の役に立つモノづくりは何かを考え るきっかけにする。

《成績評価の方法と基準》

試験 70% 出席 20% 平常 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

なし(適宜、図書館やインターネットの文献を参照すること)

《授業外における学習方法》

課題に対する深い調査・研究が必須となるため、課外でも進んで作業を行うこと

《履修に当たっての留意点》

本授業では3年次に行う卒業研究のトレーニングとしての位置づけもあるため、卒業研究を円滑に実施できるよう研究の進め 方や進捗の管理などに慣れてほしい。

	業の 法			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	実	授業を 通じての 到達目標	社会の課題・ニーズの調査を行い、課題研究のテーマを決定する	なし(適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること	
1	習形式	各コマに おける 授業予定	テーマ決定①			
第	授業を通じての 到達目標		社会の課題・ニーズの調査を行い、課題研究のテーマを決定する	なし(適宜、図書館や		
2	習形式	各コマに おける 授業予定	テーマ決定②	インターネットの 文献を参照する こと)	課外を有効活用し、調査・研究を進めること	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	社会の課題・ニーズの調査を行い、課題研究のテーマを決定する	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること	
3	育形式	各コマに おける 授業予定	テーマ決定③	<i>かい</i> カーラットの		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	社会の課題・ニーズの調査を行い、課題研究のテーマを決定する	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること	
4	音形式	各コマに おける 授業予定	テーマ決定④	インターネットの 文献を参照する こと)		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	選定したテーマについて、どうすれば解決の糸口が見つかるか 思考する	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること	
5 回	習形式	各コマに おける 授業予定	課題研究全体のスケジューリング①	インターネットの 文献を参照する こと)		

	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第。	実習	授業を 通じての 到達目標	選定したテーマについて、どうすれば解決の糸口が見つかるか 思考する	なし(適宜、図書館や	課外を有効活用し、調
6 回	形式	各コマに おける 授業予定	課題研究全体のスケジューリング②	インターネットの 文献を参照する こと)	査・研究を進めること
第	実習	授業を 通じての 到達目標	選定したテーマについて、どうすれば解決の糸口が見つかるか 思考する	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調
7 回	1形式	各コマに おける 授業予定	課題研究全体のスケジューリング③	インターネットの 文献を参照する こと)	査・研究を進めること
第	実習	授業を 通じての 到達目標	選定したテーマについて、どうすれば解決の糸口が見つかるか 思考する	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調
8 回	一形式	各コマに おける 授業予定	課題研究全体のスケジューリング④	インターネットの 文献を参照する こと)	査・研究を進めること
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし(適宜、図書館や	課外を有効活用し、調
9 回	形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施①	インターネットの 文献を参照する こと)	査・研究を進めること
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること
10回	一形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施②	インターネットの 文献を参照する こと)	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や インターネットの 文献を参照する こと)	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること
11	ョ形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施③		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること
12回	形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施④	インターネットの 文献を参照する こと)	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調
13	形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑤	インターネットの 文献を参照する こと)	課外を有効活用し、調査・研究を進めること
第	実	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調
14 回	習形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施、中間発表準備	インターネットの 文献を参照する こと)	疎外を有効店用し、調査・研究を進めること
第	実習	授業を 通じての 到達目標	現在時点の研究の進捗を報告する	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調
15 回	百形式	各コマに おける 授業予定	中間発表	インターネットの 文献を参照する こと)	査・研究を進めること

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科	科目	区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	課題研究	必修/選	択の別	」 必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	2年	学期及び	曜時阻	後期	教室名	
担当教員	若林 健一	事業開発を	8年担当。	て産業向け・家庭向け機 講義内容に関わる、企 数行っている。		

《授業科目における学習内容》

社会に存在する課題やニーズにフォーカスを当て、これまで学習した知識や技術を用いて解決する方法を考え、実際に解決 に向けたアクションを起こす。調査からアクションまで一連の過程を経験し、本当に世の中の役に立つモノづくりは何かを考え るきっかけにする。

《成績評価の方法と基準》

試験 70% 出席 20% 平常 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

なし(適宜、図書館やインターネットの文献を参照すること)

《授業外における学習方法》

課題に対する深い調査・研究が必須となるため、課外でも進んで作業を行うこと

《履修に当たっての留意点》

本授業では3年次に行う卒業研究のトレーニングとしての位置づけもあるため、卒業研究を円滑に実施できるよう研究の進め 方や進捗の管理などに慣れてほしい。

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること	
16回	自形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑥	インターネットの 文献を参照する こと)		
第	実	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし(適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること	
17 回	習形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑦	インターネットの 文献を参照する こと)		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること	
18	貿形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑧	ハカーラルの		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし(適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること	
19	音形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑨	インターネットの 文献を参照する こと)		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし(適宜、図書館や	課外を有効活用し、調査・研究を進めること	
20回	習形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑩	インターネットの 文献を参照する こと)		

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調
21 回	Π//		各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑪	インターネットの 文献を参照する こと)	査・研究を進めること
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること
22	自形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑫	インターネットの 文献を参照する こと)	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	
23 回	自形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑬	インターネットの 文献を参照する こと)	課外を有効活用し、調査・研究を進めること
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	() 本点 図書館の	課外を有効活用し、調
24	24 🗒	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑭	インターネットの 文献を参照する こと)	課外を有効店用し、調査・研究を進めること
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし(適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること
25 回	百形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑮	インターネットの	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	(適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること
26 回	百形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施⑯		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調査・研究を進めること
27	形式	各コマに おける 授業予定	各自・各チームごとに課題研究の作業実施、課題研究発表準備	インターネットの 文献を参照する こと)	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	各自・各チームごとにスケジュールに沿って調査・研究を進める	なし (適宜、図書館や	課外を有効活用し、調 査・研究を進めること
28	一形式	各コマに おける 授業予定	課題研究発表準備	インターネットの 文献を参照する こと)	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	限られた時間で端的かつ明快に研究内容を報告する	他人の発表を聞	
29 回	貿形式	各コマに おける 授業予定	課題研究発表	く用意(ノートな ど)	
第	実習	授業を 通じての 到達目標	限られた時間で端的かつ明快に研究内容を報告する	他人の発表を聞	
30	習形式	各コマに おける 授業予定	課題研究発表	く用意(ノートなど)	